資料1

類似団体比較資料

令和8年10月
総務部行政改革推進課

【 目 次 】

１　比較団体について・・・

1　比較団体について

①類似団体とは

総務省において、人口や産業構造に基づいて分類されたものを指し、大津市は「中核市」に分類されます。中核市は全国に62団体あり、そのうち関西圏の団体は13市（本市除く）となっています。
関西の中核市は大阪や兵庫が多く、その他では、奈良市・和歌山市等が該当します。

②比較団体とは

今回分析するにあたって、中核市の中でも人口や面積が類似している団体を抽出しています。比較団体とした市は表の5団体です。

比較団体一覧

市	人口（人）	面積（㎢）	備考
大津市	343,600	464.51	
奈良市	347,187	276.94	
和歌山市	352,941	208.85	
姫路市	523,181	534.56	
高崎市	365,972	459.16	※最も近似
金沢市	443,123	468.81	

R7.1.1住民基本台帳人口
R6.10.1現在面積

今回は、類似団体平均や、比較団体・県内団体との比較を行っています。

２　財政状況比較

財政指標の推移と類似団体との比較

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	類似団体内順位（R6）	県内順位（R6）	備考
財政力指数	0.82	0.82	0.80	0.79	0.77	0.76	28/62	6/19	高いほど財政力が強い
経常収支比率（%）	88.9	91.5	88.3	90.9	92.4	92.8	25/62	10/19	低いほど財源の余裕が大きい
実質公債費比率（%）	2.1	1.7	1.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	3/62	1/19	低いほど財政の自由度が高い
将来負担比率（%）	－	－	－	－	－	－	最良水準	最良水準	低いほど財政規模に対する負債の割合が小さい

・大津市は、実質公債費比率や将来負担比率からみると債務面の負担は抑えられています。一方、財政力指数は緩やかな低下傾向、経常収支比率は上昇傾向にあります。

・経常収支比率は、R3の88.3%を底に上昇し、R6は92.8%となっています。R6の順位は類似団体62団体中25位、県内19市町中10位で概ね中位にありますが、比率の上昇は経常的な経費に充当される一般財源の割合が高まっていることを示しています。

３　財務指標の比較

財務書類から読み取る大津市と比較団体の状況

【発生主義での分析　公会計財務書類より（令和6年度・一般会計等）】　　単位：百万円

指標	大津市	奈良市	和歌山市	姫路市	高崎市	金沢市
資産合計	591,315	440,425	477,095	827,468	462,432	800,977
事業用建物取得価格	249,386	218,404	293,036	412,073	338,893	342,739
事業用建物減価償却累計額	154,877	139,264	209,586	258,534	181,183	211,953
事業用建物老朽化率	62.1%	63.8%	71.5%	62.7%	53.5%	61.8%
インフラ資産合計	256,081	130,553	195,409	279,489	168,221	310,427
インフラ建物取得価格	11,463	27,138	11,753	6,610	3,799	36,424
インフラ建物減価償却累計額	6,981	18,886	6,982	4,244	2,273	12,882
インフラ建物老朽化率	60.9%	69.6%	59.4%	64.2%	59.8%	35.4%
インフラ工作物取得価格	206,585	218,738	375,406	660,191	364,926	408,367
インフラ工作物減価償却累計額	134,083	193,305	251,152	494,128	247,412	298,334
インフラ工作物老朽化率	64.9%	88.4%	66.9%	74.8%	67.8%	73.1%
地方債合計	125,093	176,213	171,769	174,373	145,868	208,069
減価償却費	10,009	11,623	14,542	22,079	13,605	17,738

事業用建物
⇒庁舎・学校など

インフラ資産
⇒道路・公園など

・事業用建物の老朽化率は62.1%で、6市平均（約62.6%）とほぼ同水準です。比較団体と比べて老朽化が突出している状況ではないものの、既に6割を超えており、老朽化が進んでいるといえます。

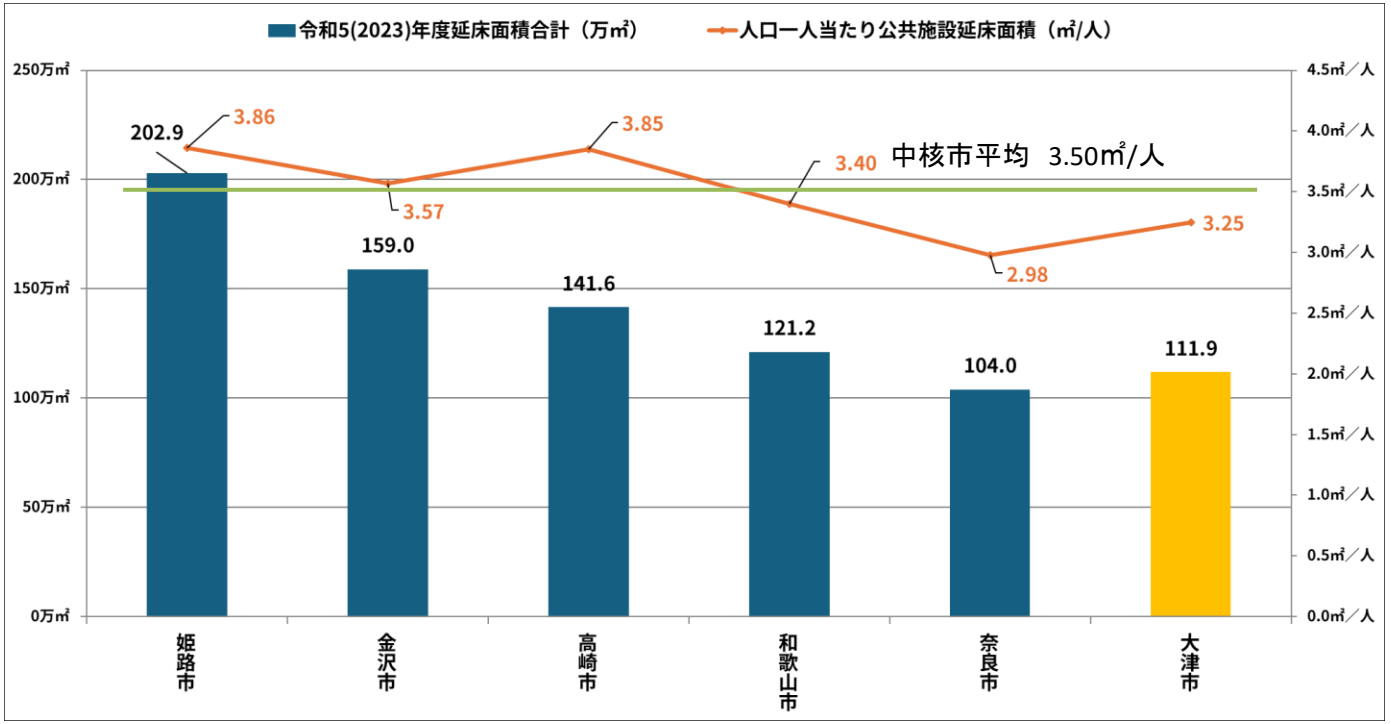
・インフラ建物の老朽化率は60.9%で、6市平均（約58.2%）をやや上回ります。

・インフラ工作物の老朽化率は64.9%で、6市平均（約72.6%）を下回り、6市の中では最も低いです。

4　施設保有量の比較

比較団体の状況

	総面積（㎡）	一人当たりの面積（㎡/人）
姫路市	2,029,405	3.86
金沢市	1,589,829	3.57
高崎市	1,416,332	3.85
和歌山市	1,211,699	3.40
奈良市	1,039,605	2.98
大津市	1,118,968	3.25



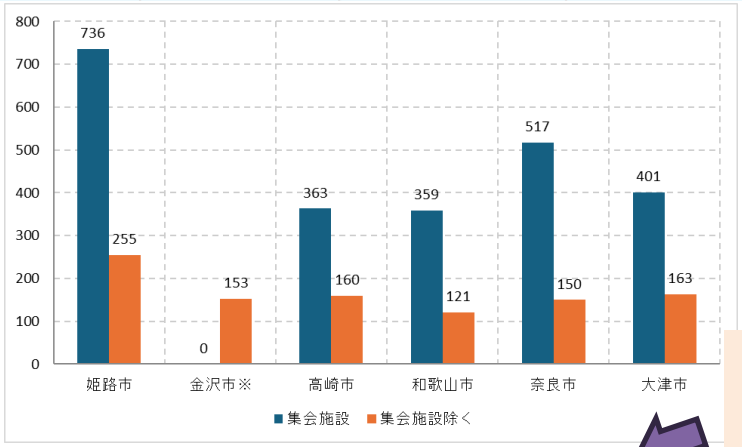
・大津市の1人当たり延床面積は3.25㎡/人で、比較6市の中では奈良市（2.98㎡/人）に次いで2番目に少なく、中核市62市の単純平均3.50㎡/人を0.25㎡/人下回っています。

・比較6市の値は2.98～3.86㎡/人の範囲にあり、大津市はその中でも低い水準です。中核市平均も下回っていることから、人口規模に対する公共施設の保有量は相対的にコンパクトな水準にあります。

4　施設保有量の比較

比較団体の状況

市	延床面積（㎡）	1人当たり延床面積（㎡/人）	主要施設数（集会施設含む）	うち集会施設	主要施設数（集会施設除く）	備考
姫路市	2,029,405	3.86	991	736	255	
金沢市※	1,589,829	3.57	153	0	153	※集会施設・支所・出張所の計上なし
高崎市	1,416,332	3.85	523	363	160	
和歌山市	1,211,699	3.40	480	359	121	
奈良市	1,039,605	2.98	667	517	150	
大津市	1,118,968	3.25	564	401	163	



・総務省「令和5年度 市町村公共施設状況調査」で箇所数を共通把握できる主要施設を合計したもの。学校・市営住宅・本庁舎等は合計に含めていません。

・同等の人口規模である高崎市、和歌山市、奈良市との比較においては、ほぼ同等の施設数となっています。

「支所・出張所」には、保健所を除く他の行政機関並びに分課として設置された事務所（土木出張所、林業指導所など）が計上されています

「集会施設」には、他の項目に計上した施設であっても集会室部分があれば、複数の集会室が計上されています

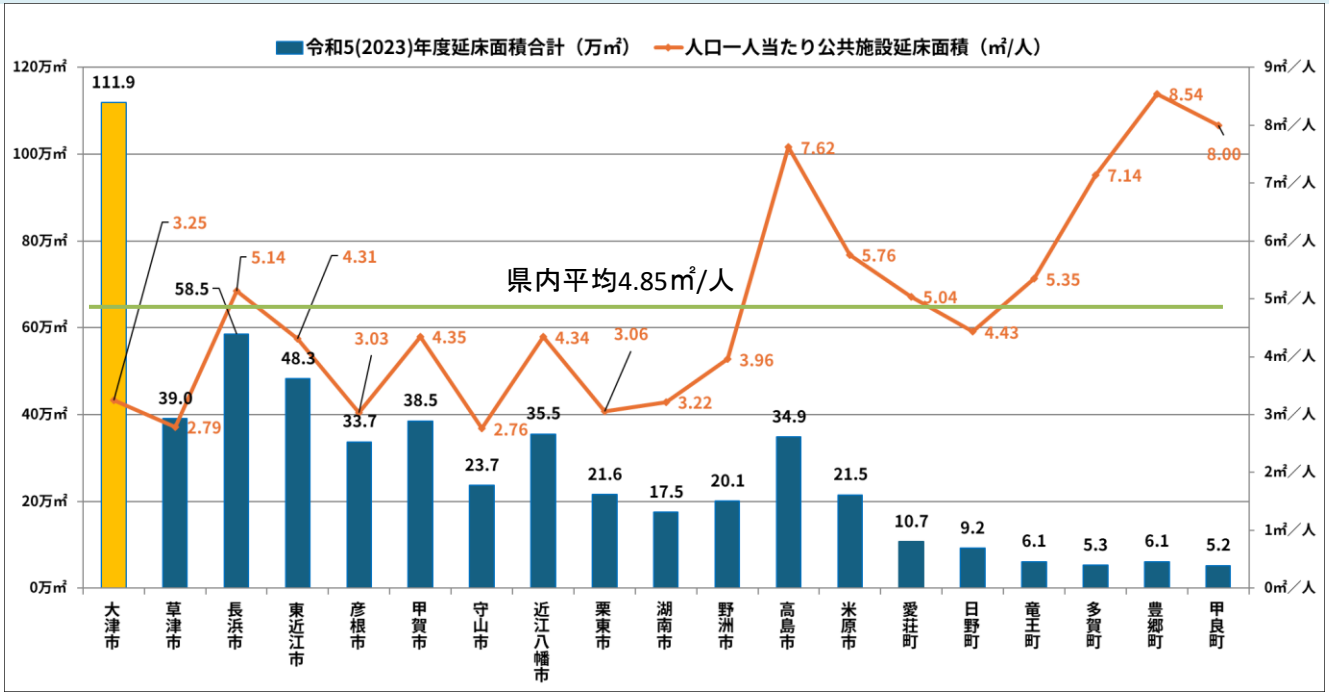
主な施設数

市	保育所	市町村立幼稚園	市町村立認定こども園	支所・出張所	児童館	隣保館	公会堂・市民会館	公民館	図書館	体育館	野球場	プール	診療所	保健センター	集会施設
姫路市	18	31	11	16	11	17	18	68	15	11	12	6	10	3	736
金沢市※	13	0	0	0	33	0	3	63	5	12	3	5	1	3	0
高崎市	24	8	0	7	6	4	9	45	6	11	8	19	0	6	363
和歌山市	14	11	2	49	8	12	2	1	2	4	7	1	1	4	359
奈良市	4	8	17	12	4	4	5	46	3	12	16	3	11	2	517
大津市	14	28	1	44	7	0	9	20	4	9	6	13	3	1	401

4　施設保有量の比較

施設保有量の滋賀県内の状況

	総面積（㎡）	一人当たりの面積（㎡/人）
大津市	1,118,968	3.25
草津市	390,184	2.79
長浜市	585,320	5.14
東近江市	482,620	4.31
彦根市	336,857	3.03
甲賀市	385,108	4.35
守山市	236,990	2.76
近江八幡市	355,147	4.34
栗東市	215,718	3.06
湖南市	175,319	3.22
野洲市	200,652	3.96
高島市	348,721	7.62
米原市	215,217	5.76
愛荘町	106,843	5.04
日野町	92,476	4.43
竜王町	61,200	5.35
多賀町	52,970	7.14
豊郷町	61,444	8.54
甲良町	52,095	8.00



・大津市の1人当たり延床面積は3.25㎡/人で、県内19市町中6番目に少なく、県内19市町の単純平均4.85㎡/人を下回っています。

・延床面積の総量は約111.9万㎡で県内最大ですが、人口規模も県内で最も大きいため、1人当たりでみると低い水準となっています。大津市より1人当たり面積が少ない5市との差も0.03～0.49㎡/人であり、県内の低いグループに位置しています。